

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業						
事業の概要	事業年度	平成20年～22年		事業完了日	平成23年2月28日			
	総事業費	12,599千円		交付金額	4,199千円			
	整備対象地域	田ノ浦、大平、満穂、篠谷、玉谷、大内野、中野川、仙波、多居谷、総津1、総津2、総津3、高市						
	平成20年時点で中心地ではADSLサービスが開始されていたものの、過疎や中山間地域ではISDN回線となっていました。 そこで町がインターネットで高速回線の利用ができない地域に対し、衛星を使ったインターネットで、ブロードバンドに対応できる環境を整備し、情報格差の是正とICT活用による地域の活性化を図りました。							
BB	サービス開始日	平成23年2月28日						
	サービス形態	公設公営方式(IRU)						
	契約先	株式会社シーオーテック						
		整備計画時の目標		実績				
		初年度	最終	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末
	整備地域の世帯数	463	463	451	441	438	427	419
	加入世帯数	42	42	42	39	41	38	34
	加入率(%)	9.1	9.1	9.3	8.8	9.4	8.9	8.1
評価及び課題	<p>サービスの提供開始により地域間の情報通信格差は解消され、当該地域の情報化インフラ整備は達成できました。また、当該地域の小学校や企業がホームページを利用して地域の活性化に努めています。</p> <p>ブロードバンド加入率については、高齢者が多く住む過疎地域であり、インターネットを必要としない世帯も多いことやスマートフォン・タブレット端末の普及が進んだこと、インターネット利用料金の値上げなどもあり、加入者が減少しているのが現状です。</p> <p>現在のIPSTAR衛星が寿命を迎える2021年末に設備の更新費用などの経費負担が発生すると予想されております。今後、衛星インターネットよりも高速の通信網であるモバイルデータ通信の低価格化が進めば、衛星インターネットの加入率は減少しますが、ブロードバンドの率は増加すると見込まれることから、計画性をもって取り組む必要があると考えています。</p>							